



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成26年7月31日

受付日：平成26年3月18日  
受付番号：HP14-KT053

## 接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7  
徳栄ビル本館4階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	帯金物S65SD
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	たて枠継手の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「帯金物S65SD」2枚 材 質：NSDC570:ZQNK18*1 寸 法：30mm×510mm t=0.6mm 接合具用孔：14-φ3.6mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>たて枠(上)側：「太めくぎ ZN-65」7本 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p>たて枠(下)側：「太めくぎ ZN-65」7本 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>たて枠(上)：38mm×89mm×650mm S-P-F 甲種2級 2本 含水率：10.0～14.0% 全乾密度：0.44～0.48g/cm<sup>3</sup></p> <p>たて枠(下)：38mm×89mm×650mm S-P-F 甲種2級 2本 含水率：9.5～14.0% 全乾密度：0.44～0.49g/cm<sup>3</sup></p> <p>合板(上)：50mm×650mm 厚さ12mm 構造用合板 2枚 含水率：9.5～10.0% 全乾密度：0.43～0.49g/cm<sup>3</sup></p> <p>合板(下)：50mm×650mm 厚さ12mm 構造用合板 2枚 含水率：9.0～10.0% 全乾密度：0.42～0.48g/cm<sup>3</sup></p> <p>4) その他</p> <p>たて枠同士の接合：太め鉄丸くぎCN75F 4本(端部2本打ち) たて枠と合板の接合：鉄丸くぎN50 16本(片面8本) @150</p> <p>*1 新日鐵住金が定める規格に適合したもの</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験結果は、接合金物2枚用いた仕様の数値を示す。 1枚で用いる仕様の基準許容応力、基準終局耐力、短期許容耐力は試験結果の1/2の耐力とする。
7. 試験結果	基準許容応力 6.92 kN、基準終局耐力 17.64 kN、短期許容耐力 10.38 kN (1枚:基準許容応力3.46kN) (1枚:基準終局耐力8.82kN) (1枚:短期許容耐力5.19kN) (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年5月23日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。